

Lead the Digital Transformation →

# 2017年3月期 第3四半期 証券アナリスト向け決算説明会

2017年2月17日  
株式会社 **クレスコ**

## ❖ 第3四半期の実績

- ・ 企業の戦略的なIT投資は、第3のプラットフォーム（クラウド、モビリティ、ビッグデータ、ソーシャル技術）や先端技術（AI、ロボティクス、IoT等）への関心の高まりを背景に、ソフトウェア開発、システム開発の新たな需要を喚起し、当連結累計期間の業績は、**前年比増収**。
- ・ 上半期の出遅れはリカバリー施策が功を奏し、事業分野別、子会社毎の業績は、改善傾向。
- ・ 期中のM&Aも業績に寄与し、**対前年の減益率が、縮小**。

## ❖ 第3四半期のトピックス

- ・ 子会社「アイオス」が開発したETCを多目的利用できる仕組み「バイ・ザ・ウェイ®」を、バスタ新宿がバス管制システムで採用。
- ・ NECフィールディング社の「人の顔を覚えるロボット」の開発を支援。

## ❖ 今期の通期見通し

- ・ 見通しは、良好。
- ・ 当初(5月9日)に発表した連結業績予想・期末配当予想は**据え置き**。

① 第3四半期のトピックス

② 第3四半期決算のポイント

③ 今後の見通しと成長戦略

参考 今期の取組み、**クレスコGroup**の特徴 etc.

別冊 決算補足データ

---

# ① 第3四半期のトピックス

---

日本最大級の高速バスターミナル「バス新宿」に当社製品「バイ・ザ・ウェイ®」が採用されました

2016年11月18日



### 【概要】

- 「バイ・ザ・ウェイ®」はETCを多目的利用できる、子会社「アイズ」が開発した仕組み。
- バス新宿のバス管制システムのうち、ETCを活用して「バスの認識」「ゲートの制御」「在線管理」を行う。また、高速開閉バーゲート制御、DSRC路側アンテナ制御も「アイズ」が担当。

当社が開発した「バイ・ザ・ウェイ」が、アイテック阪急阪神株式会社様から新宿高速バスターミナル株式会社様へお納めしたバス管制システムの重要な部分の一機能として採用されました。

### バス新宿

「バス新宿」は、本年4月4日に開業した1日平均約1,600便の高速バスの発着を想定した日本最大級の高速バスターミナルです。

これまで新宿駅周辺19箇所に点在していたバス停留所を1箇所に集約するとともに、「バス停留所」「鉄道駅」「タクシープール」を新宿駅南口の1箇所に集約し、円滑な相互乗換えを実現した乗降客数ギネス世界一である新宿駅（1日平均乗降 約335万人）の要ともいえる施設です。

この施設の管制システムとして、当社製品を利用したETC車載器を介しての「バスの認識」「ゲートの制御」「在

線管理も行う予定です。

2017年01月10日

トピック

## “人の顔を覚えるロボット” 当社が開発協力

2017年1月18日～1月20日の「第1回 ロボデックス ロボット開発・活用展」においてNECフィールディング株式会社が展示する“人の顔を覚えるロボット”の開発を、当社が支援いたしました。

“人の顔を覚えるロボット”は、「いばらきロボット実証試験・実用化支援事業」において、参加事業者として採択されたNECフィールディングが、その具体的な取り組みとして開発したロボットです。観光客の嗜好や目的に合わせて観光案内を行うロボットとして、茨城県大子町で実施された実証試験で利用されました。

当社はソフトバンクロボティクスのPepperアプリ開発パートナーである強みと多数のPepperアプリ開発経験を活かし、個性豊かなPepper演出を支援し、NECの顔認証エンジン「NeoFace®」を活用した顔認証の機能を実装いたしました。また、Microsoft Azureを使ったクラウド基盤構築、アプリケーション開発（ロボット、Web）のすべてを1社で行うことで、短期間での開発を実現しました。

### 出展イベント概要

|        |  |
|--------|--|
| イベント名称 | 第1回 ロボットデックス ロボット開発                    |
| 主催     | リード エグジビション ジャパン株式会社                   |
| 会期     | 2017年1月18日（水）～1月20日（金）<br>※最終日のみ17時まで  |
| 会場     | 東京ビッグサイト                               |
| 出展ブース  | NECフィールディング株式会社 出展ブース内<br>【ブース番号】W29-8 |

### 【概要】

- NECフィールディング社の「人の顔を覚えるロボット」の開発を支援。
- ・Pepperの演出
- ・NECの顔認証エンジンを使用した顔認証機能の実装

当社はPepperの  
アプリ開発パートナーです



---

## ② 第3四半期決算のポイント

[単位：百万円未満切捨]

## ▶ 経営成績

|   |      |     | 前年同期比     |                   |
|---|------|-----|-----------|-------------------|
| ⊕ | 売上高  | ... | 224億74百万円 | ▲ 13億83百万円 106.6% |
| ⊕ | 営業利益 | ... | 19億19百万円  | ▲ 31百万円 98.4%     |

| セグメント別売上高              | 分野           | 金額       | 前年同期比            |
|------------------------|--------------|----------|------------------|
| ソフトウェア<br>開発事業         | 金融・保険分野      | 93億15百万円 | ▲ 4億39百万円 105.0% |
|                        | 公共・サービス分野    | 48億21百万円 | ▲ 3億44百万円 107.7% |
|                        | 流通・その他の分野    | 44億15百万円 | ▲ 2億71百万円 106.5% |
| 組込み型<br>ソフトウェア<br>開発事業 | 通信システム分野     | 4億02百万円  | ▲ 2億60百万円 60.7%  |
|                        | カーエレクトロニクス分野 | 15億89百万円 | ▲ 1億65百万円 111.7% |
|                        | 情報家電等・その他の分野 | 18億70百万円 | ▲ 4億25百万円 129.5% |
| 商品・製品販売                |              | 60百万円    | ▲ 3百万円 94.7%     |

【注】 昨年度は、第4次産業革命やアベノミクスの波に乗り、IT業界全般に「出来過ぎ感」あり

## ▶ 財政状態

|   |        |     |           |              |
|---|--------|-----|-----------|--------------|
| ⊕ | 総資産    | ... | 192億18百万円 | ▲ 11百万円 前期末比 |
| ⊕ | 自己資本比率 | ... | 69.5%     | 前期末 63.3%    |



### ■ 情報サービス産業

- **第3のプラットフォーム**(クラウド、モビリティ、ビッグデータ、ソーシャル技術)や**先端技術**(AI、ロボティクス、IoT等)への**関心の高まり**を背景に、ソフトウェア開発、システム開発の新たな需要を喚起。
- クラウドやAI、IoTに関する領域は、「**ビジネスイノベーション**」「**働き方改革**」「**顧客サービスの質的向上**」といった企業の競争力や生産性、顧客満足度の向上に直結。

### ■ **クレスコGroup**

- 受注量の維持・拡大および市場の変化に即したサービスの開発、先端技術の取込みに、的確かつスピーディに対応すべく、**開発体制の強化**(人材の確保、育成等)、**品質管理**、**グループ間連携**に注力。
- **先端技術**(特に、AI、ロボティクス、IoT)の**研究**、新規事業の創出、各種サービス・ソリューションの拡販等に努める。

セグメント

ソフトウェア開発

組込みソフトウェア開発

製品・商品販売

**クレスコ** は  
パートナーです。

Partner Network  
CONSULTING PARTNER

Partner Basic

Ecosystem Partner

|    |   |  |                                 |                                      |  |                                      |   |        |                              |
|----|---|--|---------------------------------|--------------------------------------|--|--------------------------------------|---|--------|------------------------------|
|    | ● |  | <b>業種</b>                       | 金融                                   | 公共・サービス                                      | 流通・その他                               |   |        |                              |
|    |   |  | メガバンク、生命保険向けのシステム開発が堅調に推移。      | 運輸・物流、旅行、人材サービス関連のシステム開発が堅調に推移。      | 新規受注も含め、案件多数有り。プライム案件、ベンダー案件とも順調。            |                                      |   |        |                              |
|    |   |  | オリジナルサービス                       | クラウド                                 | <b>クレンジュ</b><br>[AWSベースのクラウドソリューション]         | クラウド                                 | <b>インテリジェントフォルダ</b><br>[オンラインストレージサービス] | IoT    | <b>KEYAKI</b><br>[IoTシステム基盤] |
|    |   |  |                                 | AWS(パブリッククラウド) の利用顧客増加に伴い、人材育成を強化。   | 販売チャネルを拡大するため、代理店の開拓、支援を強化。                  | IoTデバイスのためのプラットフォームのサービス内容アップグレード実施。 |   |        |                              |
|    |   |  | 人工知能                            | Watson連携サービス                         | ロボティクス                                       | 受注増、体制強化、大型企業向け Watsonシステム提供モデルを策定。  | <b>まるロボ</b><br>[ロボットプラットフォーム]           | ロボティクス | Pepper関連サービス                 |
|    |   |  |                                 | 業務拡大ツールとして「ロボットプラットフォーム」開発を継続。       |  | ロボットアプリケーション開発を推進。外部企業とのビジネス連携を促進。   |   |        |                              |
| 分野 | ● |  | 通信システム                          | カーエレクトロニクス                           | その他  |                                      |   |        |                              |
|    |   |  | デジタル通信端末(スマートフォン)の開発規模が逡減(想定内)。 | 大手メーカー向けの車載系システム開発(デジタルメーター等)が引続き牽引。 | デジタル情報家電(カメラ、ビデオ、テレビ)が好調、医療分野(マルチメディア)拡大に注力。 |                                      |   |        |                              |





※ 記載している商品名は、各社の商標または登録商標です。

【注】各子会社の業績は、別冊の「決算補足データ」をご参照ください

|  |                     |  |
|--|---------------------|--|
|  | クレスコ・<br>イー・ソリューション | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 企業構造改革を実施中。上期出遅れのリカバリー施策を実行、業績は改善傾向。</li> <li>◆ 退職対策、採用計画は不調。</li> <li>◆ ソリューション事業（製品）が低調。マーケティング施策を強化。</li> <li>◆ 【課題】営業力強化，プライムビジネスの活性化，経験者採用，人事制度改革</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     2016年4月1日付で「エス・アイ・サービス」を統合 … 【目的】ERP事業の強化                 </div> |
|  | クレスコワイヤレス           | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 代理店や半導体メーカーとの協業体制が実現。受託開発案件はボリューム不足。</li> <li>◆ 量産案件獲得に向けた国内生産体制を構築。供給の安定化を推進。</li> <li>◆ RFID事業の一部をアイオスへ移管。新たなグループ連携を通じて、事業開発を図る。</li> <li>◆ 【課題】経験者採用，量産案件の確保，レベニューシェアモデルの実現</li> </ul>   |
|  | アイオス                | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 大型プロジェクトの減少は影響大。人材のスペック不足。不採算プロジェクト無し。</li> <li>◆ 上期出遅れのリカバリー施策を実行、業績は改善傾向。</li> <li>◆ 【課題】横展開営業の強化による受注量確保，経験者採用，品質管理の強化</li> </ul>  |
|  | クレスコ九州              | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ グループ内連携強化によりニアシオア開発案件が堅調に推移し、増収増益。</li> <li>◆ 人材の確保に苦戦。ビジネスパートナー（協力会社）からの要員補充でカバー。</li> <li>◆ 【課題】経験者採用，ニアシオアの取引先拡大，売上の単価アップ</li> </ul>   |
|  | クレスコ北陸              | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 営業強化、マーケティング施策の実施により、業績は回復傾向。</li> <li>◆ 作業工程の見直し等により収益性改善。</li> <li>◆ ケミカル関連の案件を新規開拓、回転寿司関連製品の販売が増加。</li> <li>◆ 【課題】新市場開拓，回転寿司関連製品のシェア拡大，構造解析技術の横展開</li> </ul>   |

| セグメント |      |    |
|-------|------|----|
| ソフト   | 組み込み | 製品 |
| ●     |      |    |
|       | ●    | ●  |
| ●     |      |    |
| ●     |      |    |
| ●     |      |    |

【注】各子会社の業績は、別冊の「決算補足データ」をご参照ください

|   |             |  |
|---|-------------|--|
| <br>科礼斯軟件(上海)   | 科礼斯軟件(上海)   | <p>8月29日付のプレスリリースで「解散および清算に関するお知らせ」を発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ メンバーの引揚げ完了。クロージング手続き中。</li> <li>◆ 【課題】2017年5月末を目途としたクロージング</li> </ul>  |
| <br>シーサー       | シーサー        | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 電力システムの大規模プロジェクトが継続し、業績を押し上げ。</li> <li>◆ 交通システム関連で新規受注、業績アップに寄与。</li> <li>◆ 医療生産管理システムも利益面が改善傾向。</li> <li>◆ 【課題】人材の確保と開発体制強化、新規分野への進出、新規顧客の開拓</li> </ul>                    |
| <br>クリエイティブジャパン | クリエイティブジャパン | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 主力の日立グループからのネットワーク更改案件が堅調に推移。</li> <li>◆ 新規顧客を第3四半期累計期間で6社獲得。</li> <li>◆ ネットワーク構築事業が堅調、PLMソリューションも進展し、前年同期比増収。</li> <li>◆ 【課題】人材（新卒・経験者）の確保、セキュリティベンダーとのアライアンス推進</li> </ul> |
| <br>メディア・マジック  | メディア・マジック   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ プロジェクト管理を強化し、不採算プロジェクト撲滅。開発要員の不足感も解消。</li> <li>◆ 新規顧客1件獲得。既存顧客のビジネスボリュームが増加傾向。</li> <li>◆ 【課題】人材（新卒・経験者）の確保、品質管理の強化、人材のスキルアップ</li> </ul>                                    |
| エヌシステム  | エヌシステム      | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 請負案件の一部が、開始時期変更のため、第4四半期へ期ズレ発生。</li> <li>◆ 主力の旅行業以外のシステム開発需要を取込むべく、営業を展開。</li> <li>◆ クレスコグループとの連携強化で、案件獲得に注力。</li> <li>◆ 【課題】新規顧客の獲得、人材の確保と開発体制強化、メンバーの維持向上</li> </ul>      |

| セグメント |     |    |
|-------|-----|----|
| ソフト   | 組込み | 製品 |
|       | ●   |    |
|       | ●   |    |
| ●     |     |    |
| ●     |     |    |
| ●     |     |    |

2016年9月1日付で子会社化  
 【主な事業内容】 旅行関連システムの開発・コンサルティング  
 【目的】 クレスコの旅行システム開発と連携し、需要拡大が期待できる旅行業向けシステム開発の強化

## ■ 子会社

- 出遅れに対するリカバリー施策が奏功。
- 受注は堅調、第3四半期は売上・利益とも改善傾向。
- グループ連携による営業力および開発体制の強化。
- 課題の克服に注力、通期での目標達成を目指す。

## ■ クレスコ本体

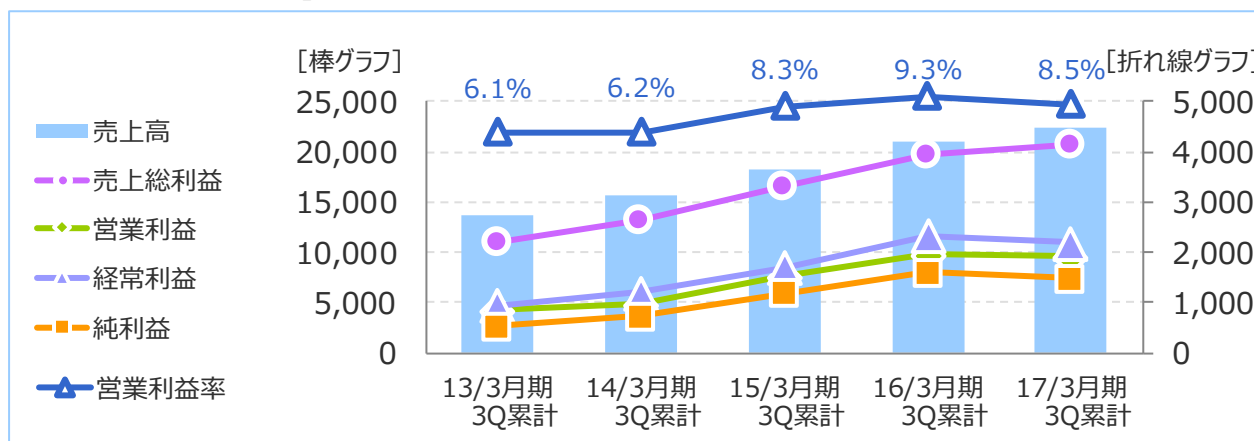
- 受注堅調、売上・利益とも対前年比で増加。
- 先端技術関連の人材育成、プロジェクト品質の向上に注力。
- ビジネスパートナーの確保、ニアショア・オフショア開発による体制強化。

| 3<br>Q<br>累<br>計 |         | 2015年3月期      | 2016年3月期      | 2017年3月期             | 前年<br>同期比     | 対通期<br>消化率    |
|------------------|---------|---------------|---------------|----------------------|---------------|---------------|
|                  |         | 売上高           | 18,154        | 21,090               | <b>22,474</b> | <b>106.6%</b> |
|                  | 売上総利益   | 3,292 (18.1%) | 3,929 (18.6%) | <b>4,139 (18.4%)</b> | <b>105.3%</b> |               |
|                  | 営業利益    | 1,512 (8.3%)  | 1,951 (9.3%)  | <b>1,919 (8.5%)</b>  | <b>98.4%</b>  | <b>69.8%</b>  |
|                  | 経常利益    | 1,690 (9.3%)  | 2,324 (11.0%) | <b>2,190 (9.7%)</b>  | <b>94.2%</b>  | <b>73.0%</b>  |
|                  | 純利益     | 1,183 (6.5%)  | 1,602 (7.6%)  | <b>1,486 (6.6%)</b>  | <b>92.8%</b>  | <b>74.3%</b>  |
|                  | EPS 円/株 | 112.52        | 143.48        | <b>131.25</b>        |               |               |

[注] ( ) 内の数字は各々の利益率を表します。

[単位：百万円未満切捨]

[注] 「純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」です。



[単位：百万円未満切捨]

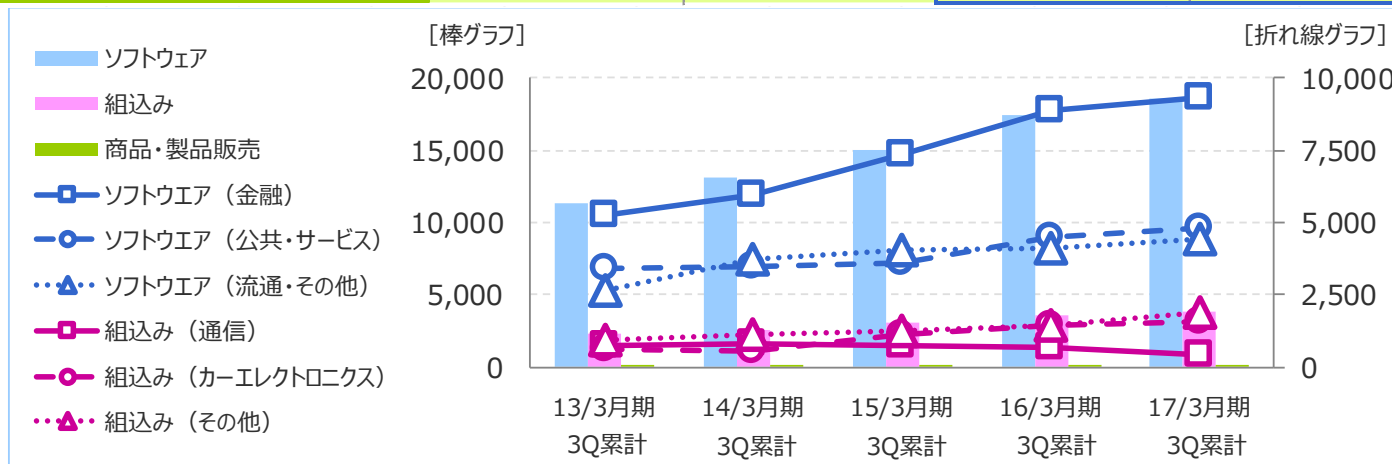
## ■ ソフトウェア

- ・「金融」「公共・サービス関連(人材、旅行)」が業績を牽引。
- ・「流通・その他」は新規受注も含めて案件多数有り。

## ■ 組込み型

- ・「その他」のデジタル情報家電(ケスコ)、制御系(シースリー)が堅調に推移。
- ・「通信システム」のスマホ関連の規模縮小は織込み済み(想定範囲)。

| セグメント          |            | 2015年3月期      | 2016年3月期      | 2017年3月期      | 前年同期比         |
|----------------|------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 3Q累計<br>ソフトウェア | 金融関連       | 7,340         | 8,875         | <b>9,315</b>  | <b>105.0%</b> |
|                | 公共・サービス    | 3,605         | 4,477         | <b>4,821</b>  | <b>107.7%</b> |
|                | 流通・その他     | 4,044         | 4,144         | <b>4,415</b>  | <b>106.5%</b> |
|                | 計          | 14,991        | 17,496        | <b>18,552</b> | <b>106.0%</b> |
| 組込み型           | 通信システム     | 720           | 662           | <b>402</b>    | <b>60.7%</b>  |
|                | カーエレクトロニクス | 1,114         | 1,423         | <b>1,589</b>  | <b>111.7%</b> |
|                | その他        | 1,263         | 1,444         | <b>1,870</b>  | <b>129.5%</b> |
|                | 計          | 3,097         | 3,530         | <b>3,861</b>  | <b>109.4%</b> |
| 商品・製品販売        |            | 65            | 63            | <b>60</b>     | <b>94.7%</b>  |
| <b>全計</b>      |            | <b>18,154</b> | <b>21,090</b> | <b>22,474</b> | <b>106.6%</b> |



[単位：百万円未満切捨]

## ■ ソフトウェア

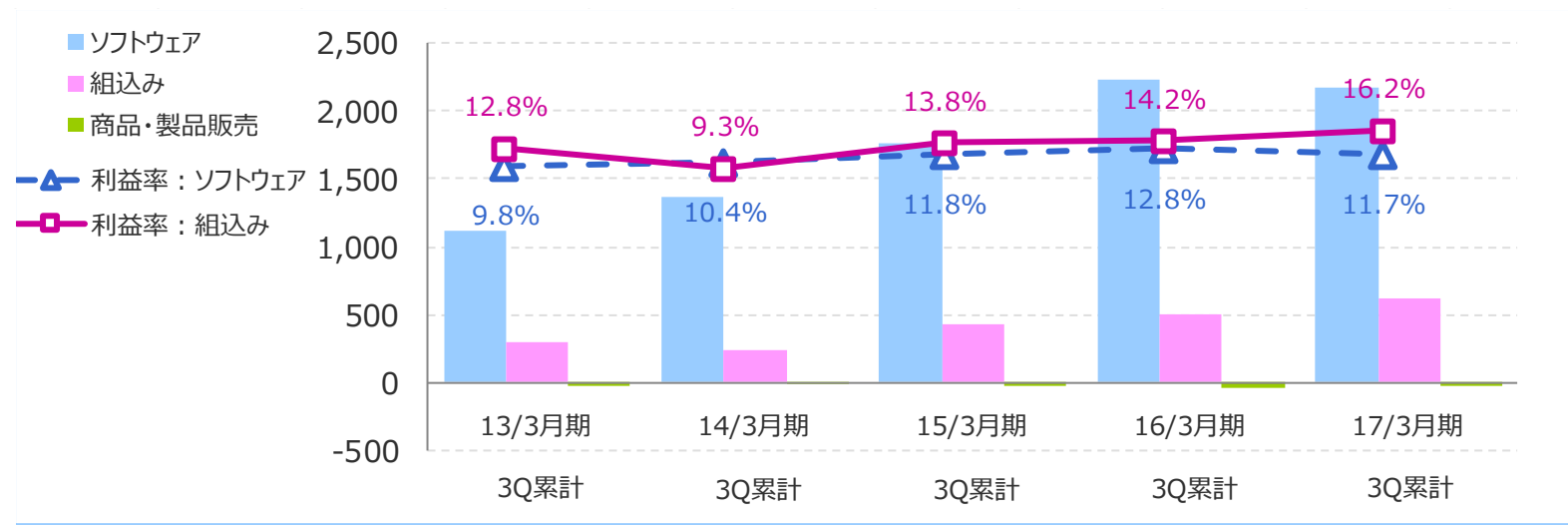
- ・稼働率は、逡増傾向。

## ■ 組込み型

- ・車載関連およびデジタル家電関連が、引続き安定稼働。

| 3<br>Q<br>累<br>計 |           | 2015年3月期     |         | 2016年3月期     |         | 2017年3月期     |                | 前年同期比         |
|------------------|-----------|--------------|---------|--------------|---------|--------------|----------------|---------------|
|                  | ソフトウェア    | 1,768        | (11.8%) | 2,234        | (12.8%) | <b>2,175</b> | <b>(11.7%)</b> | <b>97.4%</b>  |
|                  | 組込み型      | 428          | (13.8%) | 501          | (14.2%) | <b>627</b>   | <b>(16.2%)</b> | <b>124.9%</b> |
|                  | 商品・製品販売   | ▲26          | (-)     | ▲37          | (-)     | <b>▲22</b>   | <b>(-)</b>     | -             |
|                  | <b>全計</b> | <b>2,170</b> |         | <b>2,698</b> |         | <b>2,779</b> |                | <b>103.0%</b> |

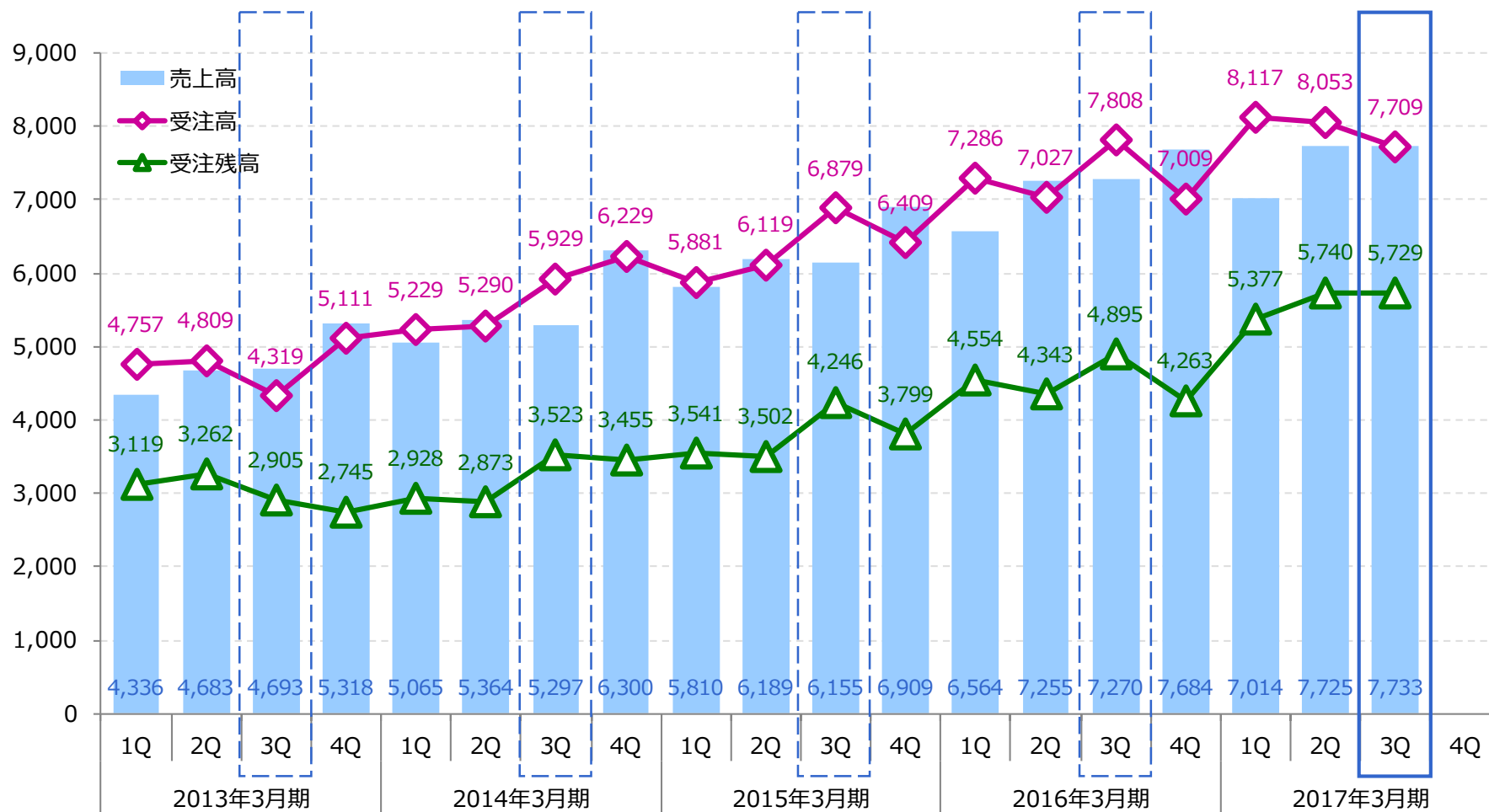
【注】 ( ) 内の数字は各々の利益率を表します。



- デジタル変革を背景に顧客(通信システムを除く)の引合いは衰えておらず、リカバリー施策も功を奏し、受注高・受注残ともに、堅調に推移。

- 受注高 : 前年同期比 98.7%  
受注残高 : 前年同期比 117.0%

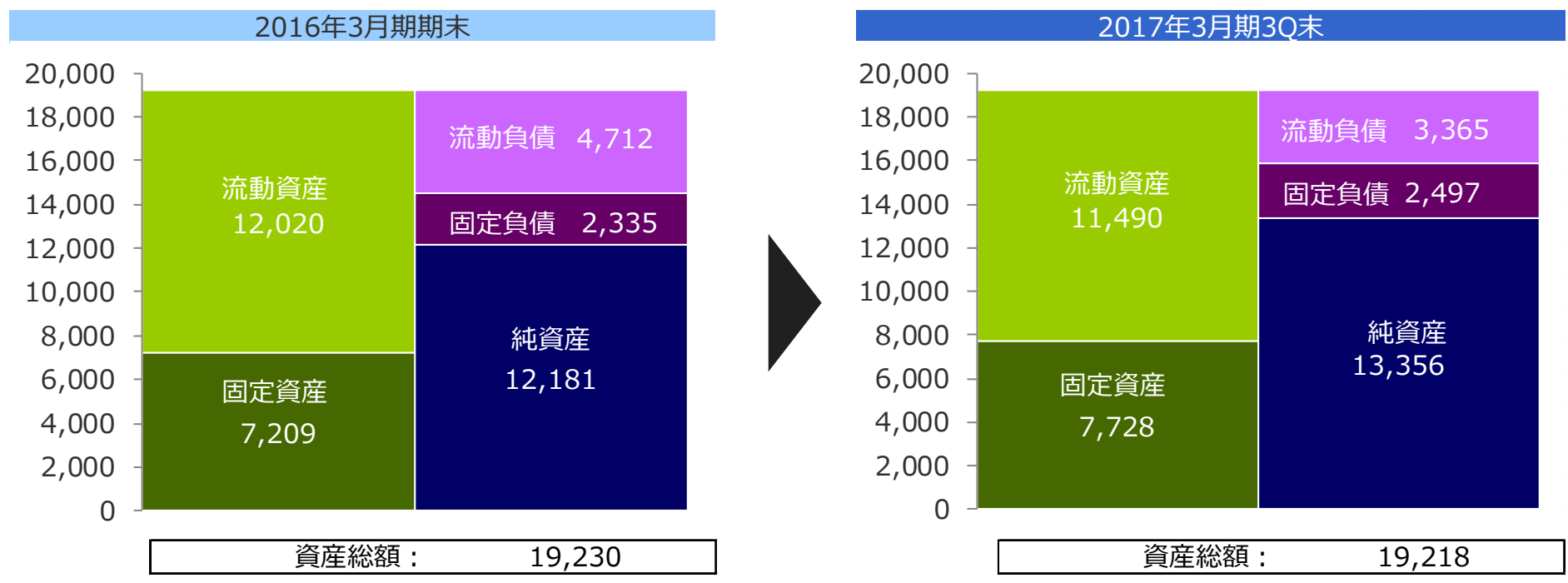
[単位: 百万円未満切捨]





[単位：百万円未満切捨]

## ■ 資産総額は、前連結会計年度末に比べて11百万円減少し、192億18百万円



|         |                         |   |
|---------|-------------------------|---|
| ■ 流動資産  | 前連結会計年度末比<br>5億29百万円減少  | 増加：仕掛品…2億1百万円、有価証券…1億95百万円<br>減少：現金および預金…6億71百万円、受取手形および売掛金…3億77百万円 |
| ■ 固定資産  | 前連結会計年度末比<br>5億18百万円増加  | 増加：投資有価証券…1億69百万円、のれん…1億61百万円、有形固定資産…1億58百万円                        |
| ■ 流動負債  | 前連結会計年度末比<br>13億47百万円減少 | 増加：短期借入金…65百万円<br>減少：買掛金…5億63百万円、未払法人税等…5億51百万円、賞与引当金…4億45百万円       |
| ■ 固定負債  | 前連結会計年度末比<br>1億61百万円増加  | 増加：退職給付に係る負債…1億56百万円  |
| ■ 純資産合計 | 前連結会計年度末比<br>11億74百万円増加 | 増加：利益剰余金…8億86百万円、その他の包括利益累計額…2億6百万円                                 |

---

## ③ 今後の見通しと成長戦略

---

[単位：百万円未満切捨]

- 見通しは、良好。
- 当初(5月9日)に発表した連結業績予想・期末配当予想は据え置き。
- 売上高、営業利益、純利益の年平均成長率10%を目指す。
- クレスコグループの強みである、事業領域と顧客層(業種、業態)の広さ、グループ連携力を活かし、経営環境と受注状況に応じて、事業ポートフォリオの期中見直しを実施。

|         | 2016年3月期         |        |               |        | 2017年3月期            |               |
|---------|------------------|--------|---------------|--------|---------------------|---------------|
|         | <2015/10/26公表予想> | 前年同期比  | 実績            | 前年同期比  | <2016/5/9公表予想>      | 前年同期比         |
| 通期 売上高  | 27,600           | 110.1% | 28,775        | 114.8% | <b>31,100</b>       | <b>108.1%</b> |
| 売上総利益   |                  |        | 5,231 (18.2%) | 116.0% |                     |               |
| 営業利益    | 2,300 (8.3%)     | 114.3% | 2,484 (8.6%)  | 123.4% | <b>2,750 (8.8%)</b> | <b>110.7%</b> |
| 経常利益    | 2,600 (9.4%)     | 116.0% | 2,857 (9.9%)  | 127.5% | <b>3,000 (9.6%)</b> | <b>105.0%</b> |
| 純利益     | 1,780 (6.4%)     | 126.6% | 1,705 (5.9%)  | 121.3% | <b>2,000 (6.4%)</b> | <b>117.3%</b> |
| EPS 円/株 | 158.07           |        | 152.26        |        | <b>176.36</b>       |               |

【注】 ( ) 内の数字は各々の利益率を表します。

【注】 「純利益」は「親会社に帰属する当期純利益」です。

株主還元方針

- 当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を維持することを基本方針としております。特段の株主優待は行っておりません。
- 配当に関しましては、当社(単体)の経常利益を基に、特別損益を零とした場合に算出される当期純利益の40%相当を中途に継続的に実現することを目指してまいります。

|       | 2016年3月期 |       | 2017年3月期 |          |
|-------|----------|-------|----------|----------|
|       | 中間       | 期末    | 中間       | 期末       |
| 1株配当金 | 23円      | 27円   | 26円      | 予想 26円   |
| 配当性向  | -        | 32.8% | -        | 予想 29.4% |

- 当社企業グループの顧客動向や営業状況から鑑み、  
新たな価値の創出や競争力強化を目指す**IT投資**(いわゆる「攻めのIT経営」)は、  
**当面継続**すると考えております。
- クラウドやモバイル端末(スマートフォンやタブレットPC等)を利活用したシステムへの移行、  
IT基盤システムの統合・再構築、ビッグデータの分析と活用、  
ソーシャル・テクノロジーのビジネス活用など、  
**第3のプラットフォーム**(クラウド、モビリティ、ビッグデータ、ソーシャル技術)に関連する領域の成長は、  
**AI、スマートロボット、IoT**といった次世代トレンドと相まって、  
「デジタル変革」として**ますます加速する**と予測しております。

- **医療、エネルギー、ロボットの3業種**は、市場にイノベーションをもたらす分野になると考えており、主力の**ソフトウェア開発事業の他、先端技術関連事業の当面の成長を見込んで**おります。
- マイナンバー制度に伴う個人情報保護体制の強化や標的型攻撃に代表される高度なサイバー攻撃、悪意ある従業員による情報漏洩などの不祥事が多発する現状を背景に、**企業のセキュリティに対する意識が高まっており、IT基盤システム構築関連事業**（クラウドを含む基盤システムやネットワーク等）**にとって新たなビジネスチャンス**になると認識しております。
- クレスコグループがご提供するサービスは幅広い技術領域を有しており、世の中のトレンドを概ね取込めるポジションにあり、**あらゆる企業や団体、産業からデジタル変革のパートナー**として期待されております。
- 事業の柱であるソフトウェア開発事業、組込型ソフトウェア開発事業において、**技術および品質の面から更なる強化**を図ってまいります。
- **先端技術を積極的に取込み、顧客の成長に寄与するサービスおよびソリューションを充実**させ、社会に貢献してまいります。

## IoTプラットフォーム「KEYAKI」の特徴

センサー・Beacon・マイクロサーバー等を利用したアプリケーションの開発、運用を支援するプラットフォーム

**<特徴>**

- 多種多様なデバイスに対応
- 使いやすいルールエンジン
- エンタープライズ向け

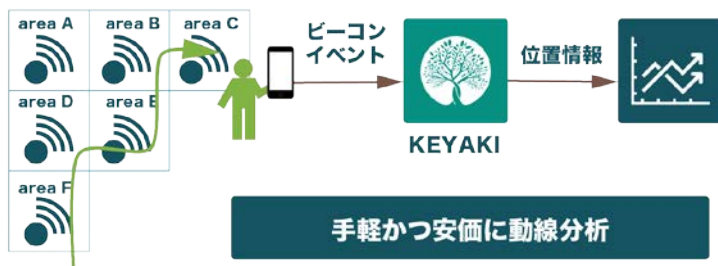
**<機能>**

- 管理機能
- SDK for iOS / Android
- Web API
- 外部 API 連携

# IoTプラットフォーム「KEYAKI」の活用例

店舗で導入した場合

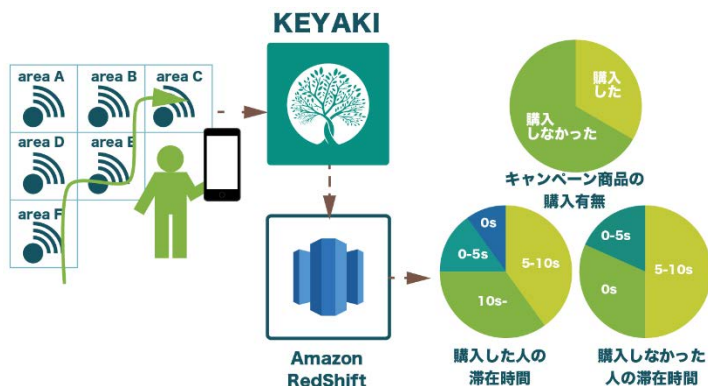
## 動線分析



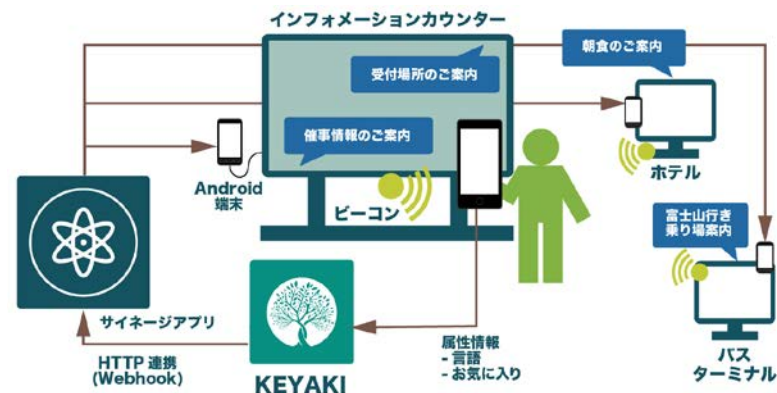
## 情報配信



## 顧客分析



## 案内表示



**クレスコGroup** は、  
お客様の**ビジネスニーズ**に対して、  
**競争力**のある**先端技術**を取込んだ  
ビジネスモデルを実現し、  
**デジタル変革をリード**します。



---

## 【ご参考】

---

# たゆまぬ「信頼と成長」のために

大きく！ 繋ぎ！ 超える！

2016年4月始動の5ヶ年ビジョン

## CRESCO Ambition 2020

Lead the Digital Transformation

～『クレスコグループ』はデジタル変革をリードします。～

挑戦する企業集団

洗練された技術力と確かな品質

ひとりひとりが輝く **クレスコ**

1. ビジネスのスピードアップ
2. コア事業（システム基盤、アプリケーション開発、組込み）を組合わせたビジネスの推進
3. デジタル変革をリードする先端技術の研究、拡大（AI、Robotics、IoT）
4. 品質、生産性の徹底的追求
5. サービスビジネスの推進
6. グループシナジーの強化およびM&A、アライアンスの推進
7. 大規模・複雑化・多様化する課題を解決するスペシャリストの育成  
およびスキル強化
8. 開発体制の拡充（ニアショア、オフショア、ビジネスパートナー）
9. 積極的な情報発信（PR、IR）
10. グループガバナンスおよびコンプライアンスの強化

## 5カ年ビジョン「CRESCO Ambition 2020」と対処すべき課題を踏まえて

## 1 組織関連施策

- 意思決定の加速およびコア事業の相互連動を実現する、大規模な組織再編
- 大規模プロジェクトに対応する、デリバリーセンターの設置
- 未来技術の追求を実現する、AI & ロボティクスセンターの設置
- グループ連携を強化する、グループ事業推進本部の設置

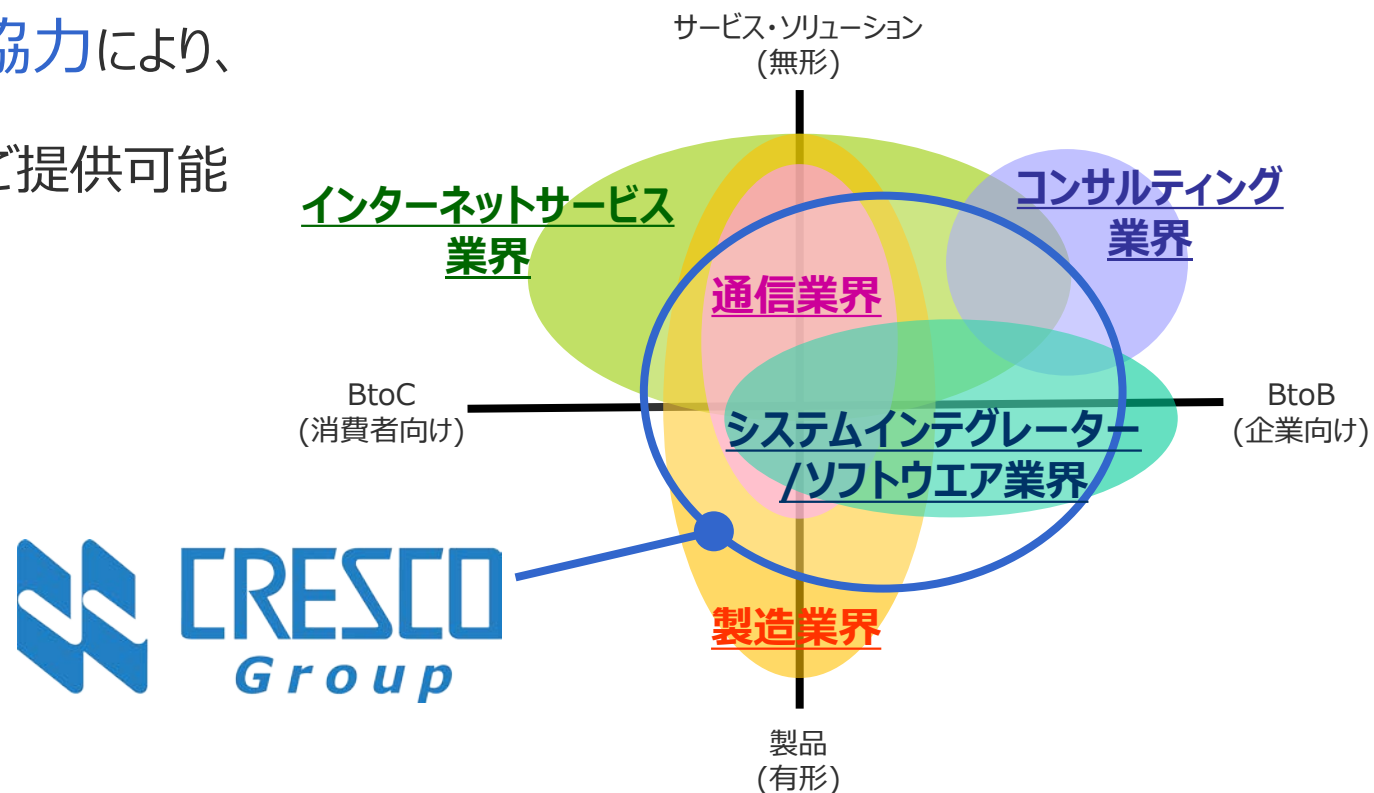
## 2 技術関連施策

- システムインテグレーション事業のデジタル化
- 知的財産の蓄積、管理および活用の推進
- クラウドビジネス拡大へ向けた事業再編
- 機能安全(高信頼性技術)ビジネスのマーケット拡充
- マーケットイン型ビジネスへの投資

## 3 その他施策

- 多様なスペシャリストを育成する人事制度、育成制度の改革
- 事業、自社サービスのプロモーション強化、広報/IR活動の充実
- コーポレートガバナンス体制の強化およびコンプライアンスの推進

- 主な事業は、  
お客様のご要望に合わせた**オーダーメイド**によるシステム開発(受託開発)
- BtoBを軸足としながら、  
**ITビジネス領域のほぼすべてをカバー**
- メーカー、ユーザー企業を親会社としない**独立系**
- **他業界との提携・協力**により、  
お客様のニーズに沿う  
幅広いソリューションをご提供可能



|   | 2013年3月期 |          |          |          | 2014年3月期  |           |           |           | 2015年3月期 |          |          |          | 2016年3月期 |          |           |           | 2017年3月期 |           |           |    |
|---|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|----|
|   | 1Q       | 2Q       | 3Q       | 4Q       | 1Q        | 2Q        | 3Q        | 4Q        | 1Q       | 2Q       | 3Q       | 4Q       | 1Q       | 2Q       | 3Q        | 4Q        | 1Q       | 2Q        | 3Q        | 4Q |
| クレスコ・イー・ソリューション <span style="color: #800080;">【※5】</span> | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●         | ●         | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●        | ●         | ●         |    |
| ワイヤステクノロジー <span style="color: #800080;">【※2】</span>      | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●         | ●         | ●        | ●        | ●        | ●        | /        | /        | /         | /         | /        | /         | /         | /  |
| クレスコ・コミュニケーションズ <span style="color: #800080;">【※1】</span> | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●         | ●         | /        | /        | /        | /        | /        | /        | /         | /         | /        | /         | /         | /  |
| クレスコ・アイディー <span style="color: #800080;">【※2】</span>      | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●         | ●         | ●        | ●        | ●        | ●        | /        | /        | /         | /         | /        | /         | /         | /  |
| クレスコワイヤレス <span style="color: #800080;">【※2】</span>       | /        | /        | /        | /        | /         | /         | /         | /         | /        | /        | /        | /        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●        | ●         | ●         |    |
| アイオス  | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●         | ●         | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●        | ●         | ●         |    |
| クレスコ九州  | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●         | ●         | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●        | ●         | ●         |    |
| クレスコ北陸  | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●         | ●         | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●        | ●         | ●         |    |
| 科礼斯軟件（上海）   | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●         | ●         | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●        | ●         | ●         |    |
| シーフリー   | /        | /        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●         | ●         | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●        | ●         | ●         |    |
| クリエイティブジャパン   | /        | /        | /        | /        | ●         | ●         | ●         | ●         | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●         | ●        | ●         | ●         |    |
| エス・アイ・サービス <span style="color: #800080;">【※3】【※5】</span>  | /        | /        | /        | /        | /         | /         | /         | /         | /        | /        | /        | /        | ●        | ●        | ●         | ●         | /        | /         | /         | /  |
| メディア・マジック <span style="color: #800080;">【※4】</span>       | /        | /        | /        | /        | /         | /         | /         | /         | /        | /        | /        | /        | /        | /        | ●         | ●         | ●        | ●         | ●         |    |
| エヌシステム <span style="color: #800080;">【※6】</span>          | /        | /        | /        | /        | /         | /         | /         | /         | /        | /        | /        | /        | /        | /        | /         | /         | /        | ●         | ●         |    |
| <b>子会社総数</b>  | <b>8</b> | <b>8</b> | <b>9</b> | <b>9</b> | <b>10</b> | <b>10</b> | <b>10</b> | <b>10</b> | <b>9</b> | <b>9</b> | <b>9</b> | <b>9</b> | <b>9</b> | <b>9</b> | <b>10</b> | <b>10</b> | <b>9</b> | <b>10</b> | <b>10</b> |    |

【※1】 2014年1月末付にて、クレスコグループとの資本関係を解消（全株式譲渡）

【※2】 2015年4月1日付で「ワイヤステクノロジー」は「クレスコ・アイディー」を統合し、「クレスコワイヤレス」に社名を変更

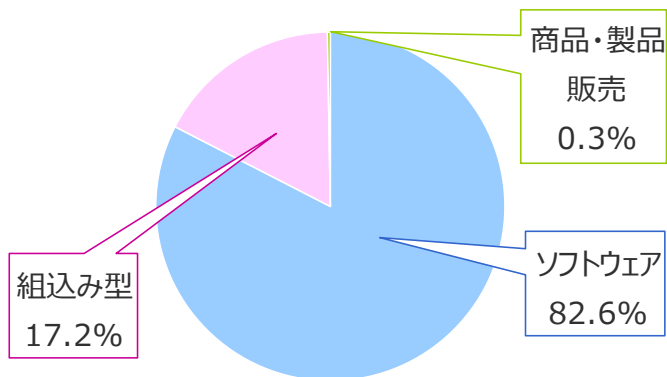
【※3】 2015年4月1日付で「(株)エス・アイ・サービス」を子会社化

【※4】 2015年10月1日付で「メディア・マジック(株)」を子会社化

【※5】 2016年4月1日付で「クレスコ・イー・ソリューション」が「エス・アイ・サービス」を統合

【※6】 2016年9月1日付で「(株)エヌシステム」を子会社化

<セグメント別の売上高比率>



| セグメント       | 事業  | 分野  |
|-------------|---|---|
| ソフトウェア開発    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスアプリケーション開発</li> <li>・IT基盤システム構築</li> <li>・オリジナル製品・サービス</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・金融<br/>(銀行、保険、カード、証券 etc.)</li> <li>・公共・サービス<br/>(航空、鉄道、電力、放送、医療、旅行、人材ビジネス etc.)</li> <li>・流通・その他<br/>(運輸、小売 etc.)</li> </ul>       |
| 組込型ソフトウェア開発 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・組込型ソフトウェア開発</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信システム<br/>(携帯情報端末 etc.)</li> <li>・カーエレクトロニクス<br/>(デジタルメーター、センターディスプレイ etc.)</li> <li>・その他<br/>(デジタル家電、医療機器、制御システム etc.)</li> </ul> |
| 商品・製品販売     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子会社「クレスコワイヤレス」の商品・製品販売</li> </ul>                                     |   |

- ITプラットフォームの変化にあわせてサービスのご提供ができるよう、「技術研究所」が**数年先を見据えて、先端技術に取り組んでいます。**

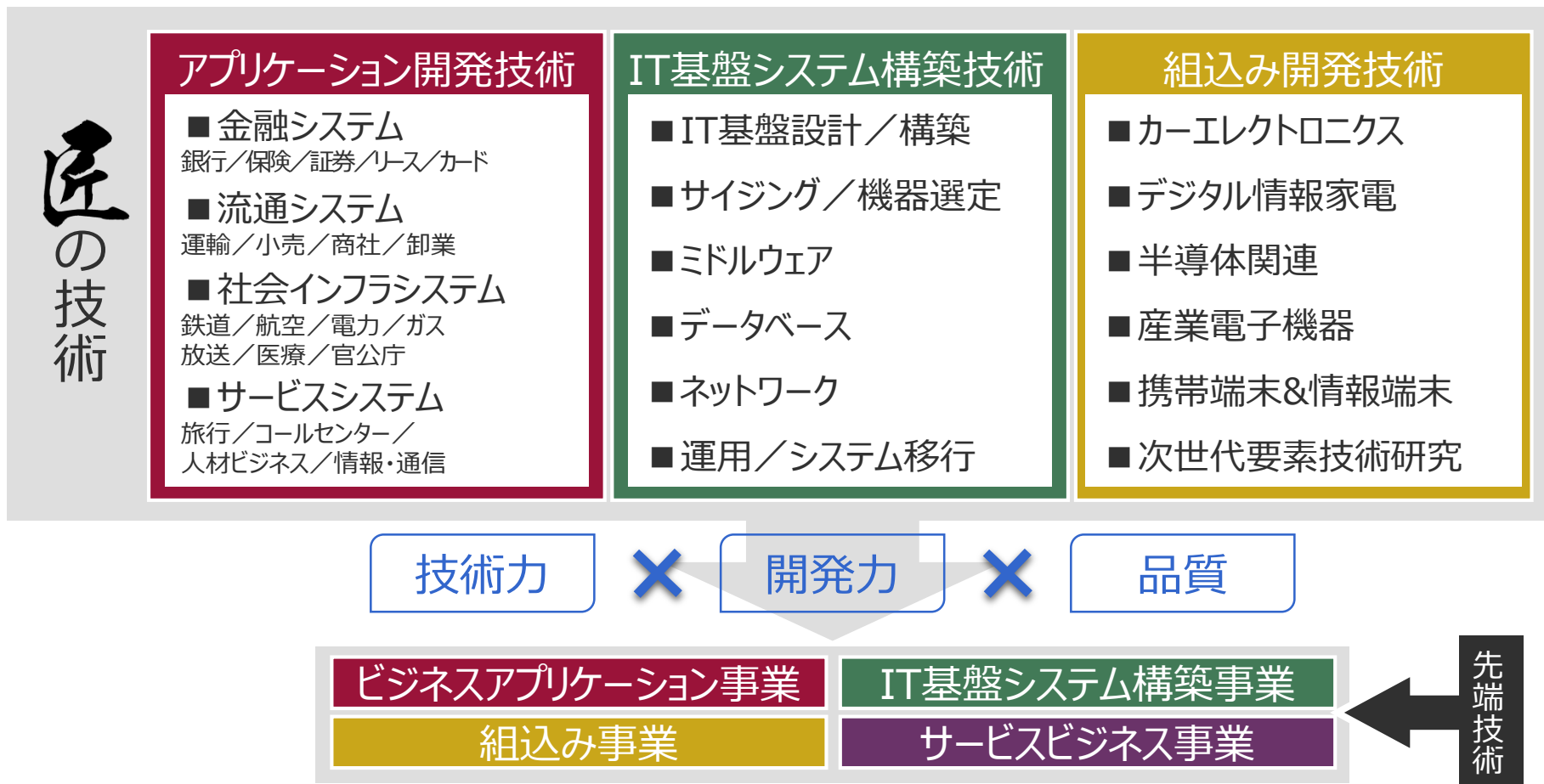
## クレスコの あゆみ



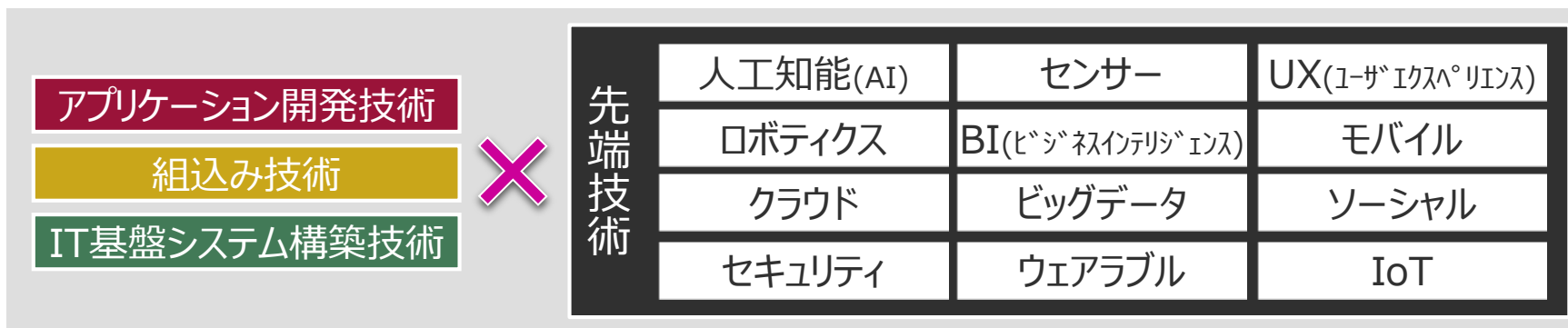
## IT業界の 成長



- 経験に支えられた3つのコア技術が4つの事業領域で、  
お客様のご要望に合わせたオーダーメイドによるシステム開発(受託開発)



- 3つのコア技術と先端技術の**組み合わせ**で、お客様のビジネスニーズを満たします。



共同研究

協業

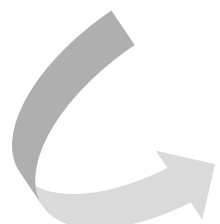
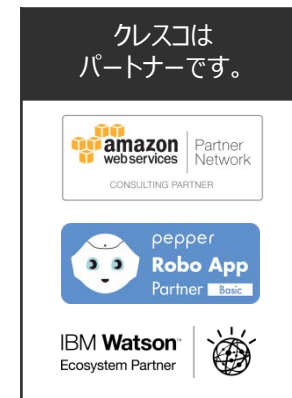
M&A

グループ連携



※ 一部を除き、商品名は当社の商標または登録商標です。  
 ※「Watson」「Pepper」「Sota」は、各社の商標または登録商標です。

- 4つの事業のコラボレーションにより、**新たなサービスを創造**
- **クレスコGroup**連携により、**ワンストップでご提供**



※ 一部を除き、商品名は当社の商標または登録商標です。  
 ※「Watson」「Pepper」「Sota」は、各社の商標または登録商標です。

## 1. 特定の取引先への依存度について

当社企業グループは、連結売上高のうち日本アイ・ビー・エム(株)への売上高の割合が高く、その状況は次のとおりです。

| 相手先           | 2015年3月期末  |        | 2016年3月期末  |        |
|---------------|------------|--------|------------|--------|
|               | 売上高(千円)    | 割合     | 売上高(千円)    | 割合     |
| 日本アイ・ビー・エム(株) | 4,464,004  | 17.8%  | 5,571,197  | 19.4%  |
| 連結売上高合計       | 25,063,601 | 100.0% | 28,775,033 | 100.0% |

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

なお、当社と日本アイ・ビー・エム(株)の間には取引基本契約が締結されており、取引関係については取引開始以来永年にわたり安定したものとなっております。ただ、日本アイ・ビー・エム(株)の事業方針や外注政策に関する変化が当社企業グループの業績に与える影響は大きく、常に注視するとともに適切な対策を打ってまいります。

## 2. 見積り違い及び納期遅延等の発生

当社企業グループは、プロジェクトの作業工程等に基づき必要工数やコストを予測し、見積りを行っておりますが、すべてのプロジェクトに対して正確に見積ることは困難であり、仕様変更や追加作業に起因する作業工数の増大により実績が見積りを超えた場合、低採算または採算割れとなる可能性があります。

また、顧客と予め定めた期日までに作業を完了・納品できなかった場合には損害遅延金、最終的に作業完了・納品ができなかった場合には損害賠償が発生し、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 3. 情報セキュリティについて

当社企業グループは、業務遂行上、顧客が有する様々な機密情報を取り扱う場合があり、慎重な対応と厳格な情報管理の徹底が求められております。これに対し当社はコンプライアンス委員会を設置し、各種ポリシーを定め、関連する規程類を整備し、プライバシーマークを取得するなど万全の対策を取っております。また、クレスココンプライアンス経営行動基準を定め、グループ各社に展開しております。さらに具体的な施策として従業員及び協力会社には機密保持に関する誓約書を取り交わした上で適切な研修やセキュリティチェックを継続的に行い、情報管理への意識を高め内部からの情報漏洩等を防いでおります。

しかしながら、これらの施策にもかかわらず個人情報や企業情報が万一漏洩した場合には、損害賠償責任、社会的信用の喪失等の発生により、当社の業績及び財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

## 4. 人材の確保や育成

優れた人材の採用及び育成は当社企業グループの業績にとって重要課題の一つと認識しており、特に有能なシステムエンジニアは今後の事業拡大に不可欠であります。こういった人材を確保または育成できなかった場合には、当社企業グループの成長や事業展開、経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 5. 協力会社（パートナー）との連携体制

当社企業グループは、事業運営に際して、協力会社等、さまざまなパートナーとの連携体制を構築しております。これらのパートナーを適宜、適正に確保できない、あるいは関係に変化が生じた場合、プロジェクトの立ち上げや遂行、サービスの提供に支障が発生する等により、経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 6. 情報サービス産業における経営環境の変化等

情報サービス産業においては国が推進、要請するIT戦略や各企業の戦略的情報投資、IT利用者の拡大などその需要は景気の動向に大きく左右される傾向が強まっております。従いまして、日本経済が低迷、悪化する場合には顧客の情報化投資が減少する恐れがあり、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 7. 長時間労働と過重労働

当社企業グループが提供するサービスやシステム開発の体制やプロセスの構造的な問題、属人性の高さから、長時間労働や過重労働が発生し、それらを起因とした健康問題や生産性の低下などにより、経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 8. 訴訟に関するリスク

事業活動に関連して、納品物や製造物に関する責任、労務問題等に関し、訴訟を提起される可能性があり、その動向によっては損害賠償請求負担や信用の失墜等により、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 9. 金融市場に係るリスク

当社企業グループが保有する有価証券等の評価は、国内・海外の経済情勢や株式市場など金融市場の動向に依存し、影響を受けるため、資金運用等、投資における重要なリスクと捉えています。当社企業グループでは、ヘッジを行うことにより、これらのリスクの最小化に取り組んでおりますが、市場の動向によっては、これらのリスクを完全に回避できない可能性があります。

当社の投資の大部分は、株式で構成されており、キャッシュ・フローの源泉の1つになっておりますが、昨今の株価変動は激しく、資産価値の下落が当社の業績及び財務状況に重大な影響を及ぼす可能性があります。

## 10. 金融商品に係るリスク

当社企業グループの保有する金融商品の価値が下落した場合、多額の損失が発生する可能性があります。なお、今後、金融商品の時価に関する会計上の取扱いに関する制度・基準等が見直された場合には、当社企業グループが保有する金融商品の時価に重大な影響を及ぼす可能性があります。

## 11. 価格競争に係るリスク

当社企業グループが事業を展開する市場は、激しい価格競争下にあり、コンサルティングサービスの導入やソリューション提案型のITビジネスへの取り組みなどにより、利益率の確保に努めておりますが、競争の更なる激化や価格低減要請の長期化による受注価格の変動が業績に影響を及ぼす可能性があります。

## 12. 自然災害等の脅威に係るリスク

地震や風水害等の自然災害、火災等の事故、大規模なシステム障害、感染症等による事業所閉鎖、物理的なテロやネットワークテロなど、外的な脅威が顕在化した際には、事業所、オフィスの確保、要員の確保、安全の確保等の観点から事業の継続に支障が発生し、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

[単位：百万円未満切捨]

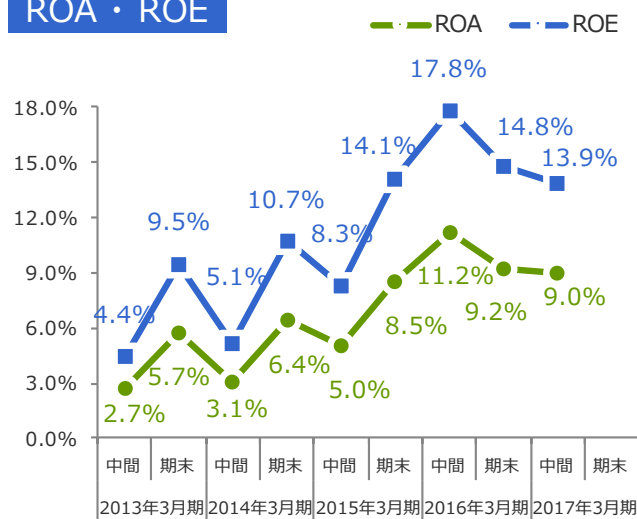
|           | 2015年3月期 |        | 2016年3月期 |        | 2017年3月期 |          |
|-----------|----------|--------|----------|--------|----------|----------|
|           | 中間       | 期末     | 中間       | 期末     | 中間       | 期末       |
| ROA       | 5.0%     | 8.5%   | 11.2%    | 9.2%   | 9.0%     | -        |
| ROE       | 8.3%     | 14.1%  | 17.8%    | 14.8%  | 13.9%    | -        |
| 総資産 経常利益率 | 7.0%     | 13.6%  | 15.6%    | 15.4%  | 13.4%    | -        |
| 売上高 経常利益率 | 9.0%     | 8.9%   | 10.2%    | 9.9%   | 8.7%     | -        |
| 流動比率      | 242.8%   | 238.0% | 271.6%   | 255.1% | 282.8%   | -        |
| 自己資本比率    | 61.4%    | 60.8%  | 65.4%    | 63.3%  | 66.2%    | -        |
| 1株配当金     | 17円      | 21円    | 23円      | 27円    | 26円      | 予想 26円   |
| 配当性向      | -        | 28.5%  | -        | 32.8%  | -        | 予想 29.4% |
| DOE       | -        | 4.1%   | -        | 4.8%   | -        | -        |

## 配当方針

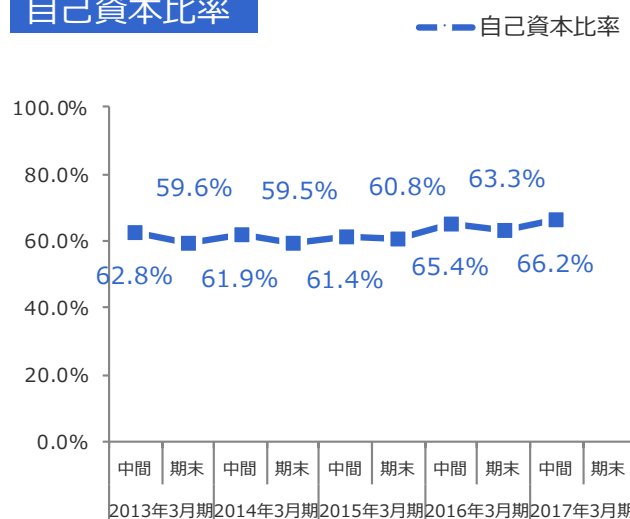
当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置付けており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を継続することを基本方針としております。

配当に関しましては、原則**当社(単体)**の経常利益をもとに特別損益を零(ゼロ)とした場合に算出される当期純利益の40%相当を目途に、継続的に実現することを目指してまいります。

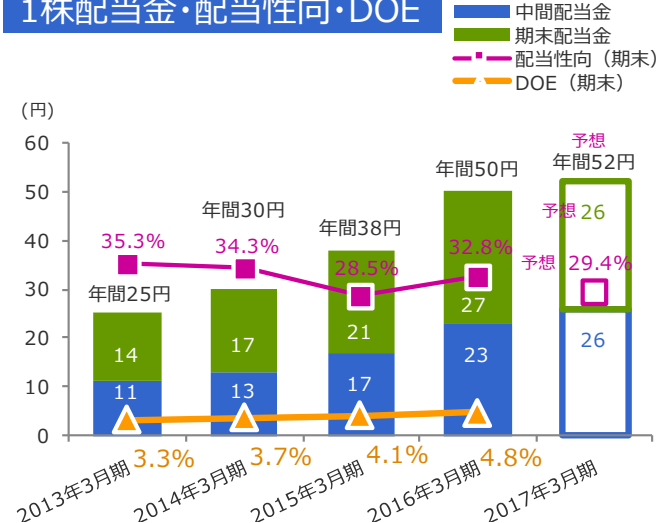
### ROA・ROE



### 自己資本比率



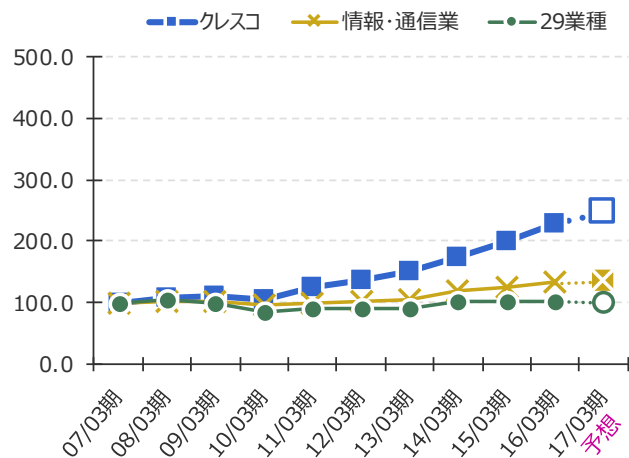
### 1株配当金・配当性向・DOE



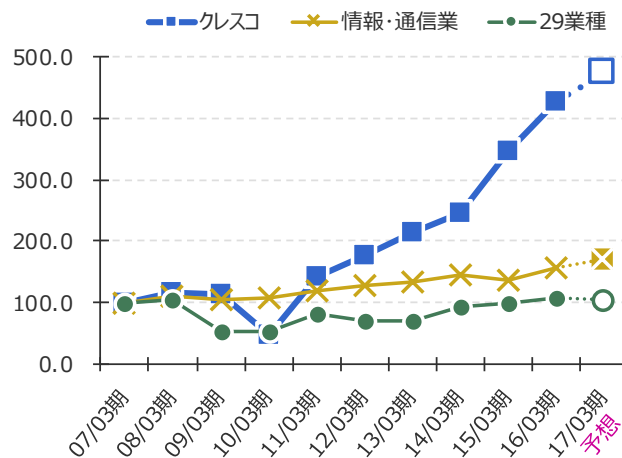


2016年11月時点  
[単位：%]

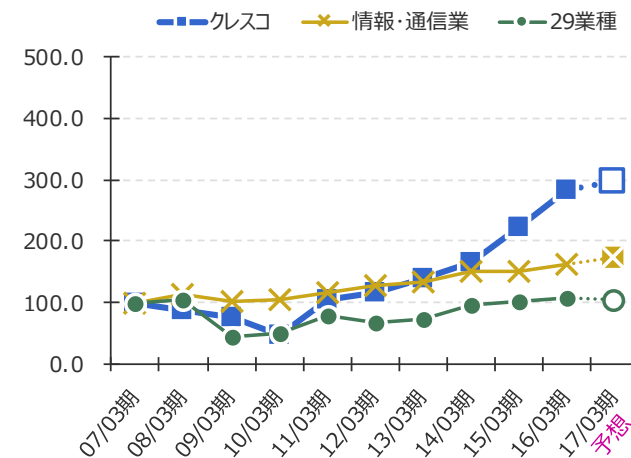
## 売上高成長率



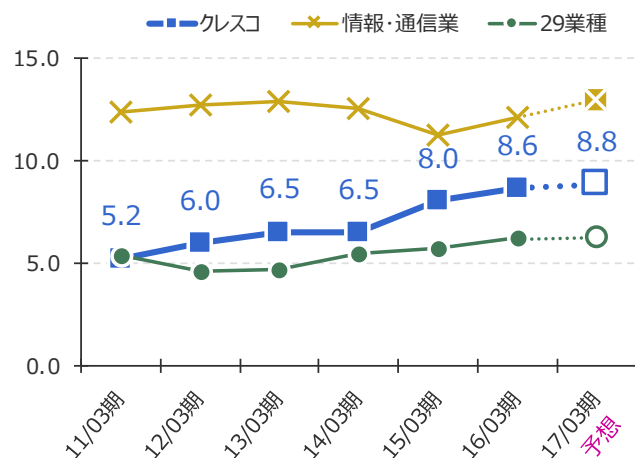
## 営業利益成長率



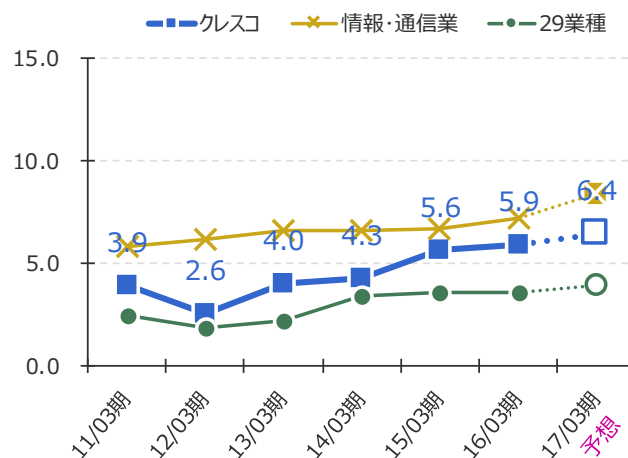
## 経常利益成長率



## 売上高営業利益率



## 売上高最終利益率



### 【29業種】

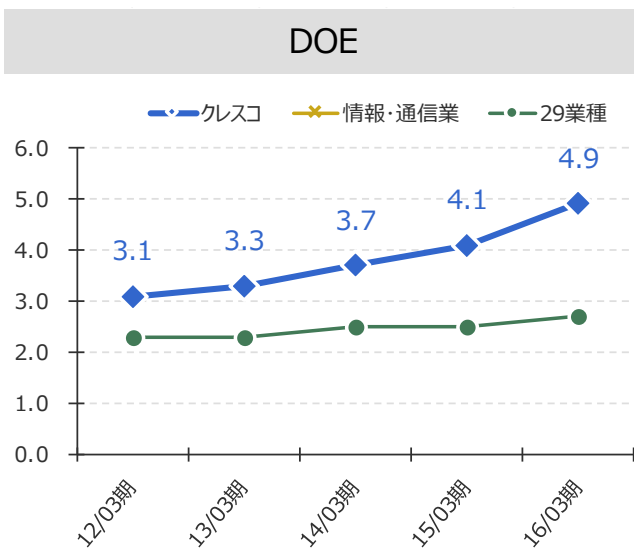
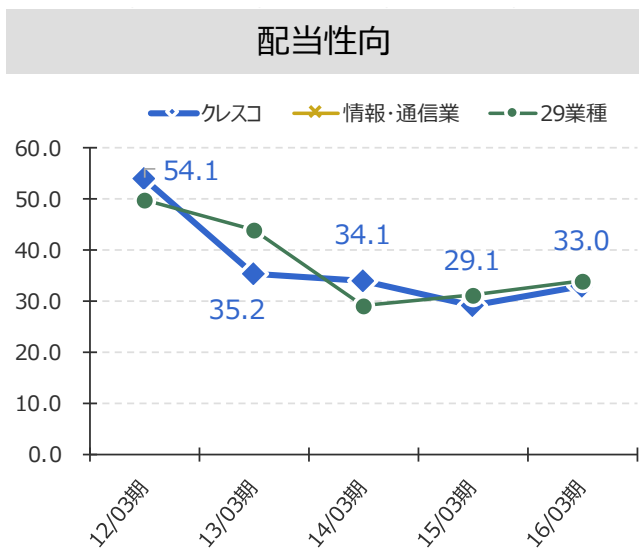
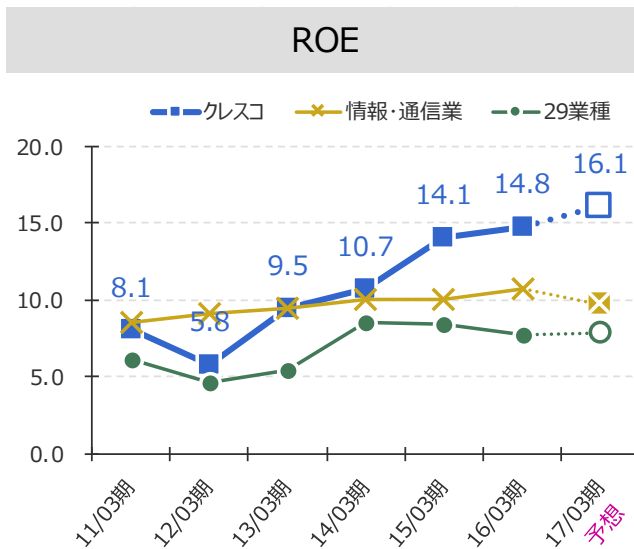
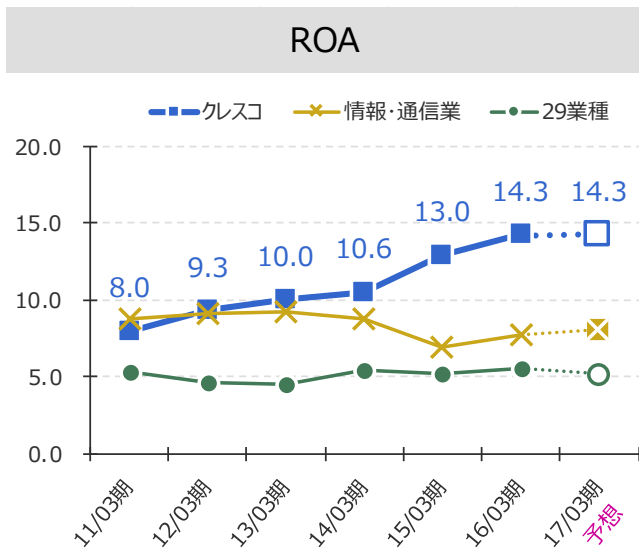
東証33業種区分のうち会計基準の違う金融4業種（銀行・証券商品・保険・その他金融）を除いた29業種であり、2016年3月末日に普通株式が日本市場において上場している全企業を対象

データ提供元





2016年11月時点  
[単位：%]



**【29業種】**

東証33業種区分のうち会計基準の違う金融4業種（銀行・証券商品・保険・その他金融）を除いた29業種であり、2016年3月末日に普通株式が日本市場において上場している全企業を対象

データ提供元

Spring Capital Co., Ltd.  
スプリングキャピタル株式会社

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容とが異なる可能性もございます。予めご了承ください。

【 IRのお問合せ 】 広報IR推進室  
Mail : [ir@cresco.co.jp](mailto:ir@cresco.co.jp)  
TEL : 03-5769-8058